

1/8(土)、1/9(日)、1/10(月・祝)、1/15(土)、1/16(日)、
1/22(土)、1/23(日)、1/29(土)、1/30(日)

新年がやってきました。

寅年！みなさまにとって、幸多き一年となりますように。
新しい年の抱負を身近な人と語り合うのは楽しいものでは
ありますが、誰にも言わず、ひっそりと星に誓ってみるのもまた
素敵かです。

今年はどんな天体イベントが私たちを楽しませてくれる
のでしょうか。わくわくしますね。

コンパルホール 星空通信

2022年 1月号

【星空のみどころ】

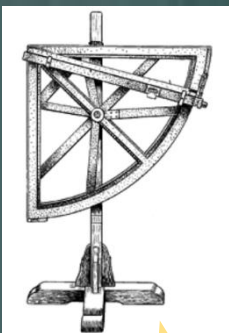
- 1/1 月と火星が接近
- 1/4 未明しぶんぎ座流星群
- 1/4 月と水星が並ぶ
- 1/6 月と木星が近づく
- 1/7 水星が東方最大離角
- 1/9 金星が内合
- 1/13 水星と土星が並ぶ
- 1/30 月と火星、金星も近づく。

1月の流星群 ☆ノノノ

今年の大天体イベントの幕開けは 1/4
の「しぶんぎ座流星群」です。

“しぶんぎ”は、「四分儀」。つまり円の
4分の1の扇形をした目盛りのついた
定規に照準類がついた道具です。

1930年頃に星座の数が88個と
決められた時、しぶんぎ座は採用され
ませんでした。そのため現在では、存
在しない幻の星座です。ただし、当時
しぶんぎ座があった場所の近くに放
射点がある名残りから、今でも「しぶ
んぎ座流星群」と呼ばれているそう
ですよ。



目を凝らしても、
ぜんぜん
みえてこないね！
幻の星座「しぶんぎ座」。

屋上・天体観測ドーム

東経131度36分50秒、北緯33度13分55秒に位置するコンパルホール。屋上(7階)には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約275倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいっちゃいませんか？

今月の惑星情報

水星：

上旬から中旬、日の入り後の西の低空に位置し、その後徐々に高度を下げ、23日に内合。これ以降日の出前の東の低空に位置します。

金星：上旬は見かけの位置が太陽に近く、観測は難しいのですが、下旬は日の出30分前の高度が10度を超え、見えやすい。

火星：日の出前の南東の低空に見え、明るさは1.5等から1.4等。

木星：日の入り後の南西の空に見え、明るさはマイナス2.1等。

土星：日の入り後の南西の低空に位置していますが、下旬になると見かけの位置が太陽に近くなり、観察は難しいでしょう。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

